

メモ館談話室

【1】さまざまな水辺一楽しみ方・向き合い方ー

せんだい 3.11 メモリアル交流館
(愛称：メモ館) が位置する仙台
東部沿岸地域の気になることを、
なんだりかんだりおしゃべりします。



仙台東部沿岸地域には、江戸時代から流れる六郷堀・七郷堀や明治時代初めに掘られた貞山堀、そして名取川と七北田川、太平洋とさまざまな水辺空間が広がっています。そして、この水辺との向き合い方も多様です。

今回の談話室では、シリーズ 1 回目として、水辺の魅力を伝えている地域住民や団体の皆さんをお招きして、改めて水辺をとおして感じられる地域資源を見つめ直し、今後の楽しみ方、また「楽しむための管理」について考えていきます。

水辺空間にご関心のある方、東日本大震災以降の仙台東部沿岸地域の自然資源にご興味のある方、ぜひご参加ください！

｜日時｜

2018 年 6 月 17 日 (日)
10:30 ~ 12:00

参加無料

申込不要・直接会場へ

｜会場｜

せんだい 3.11 メモリアル交流館
1 階交流スペース

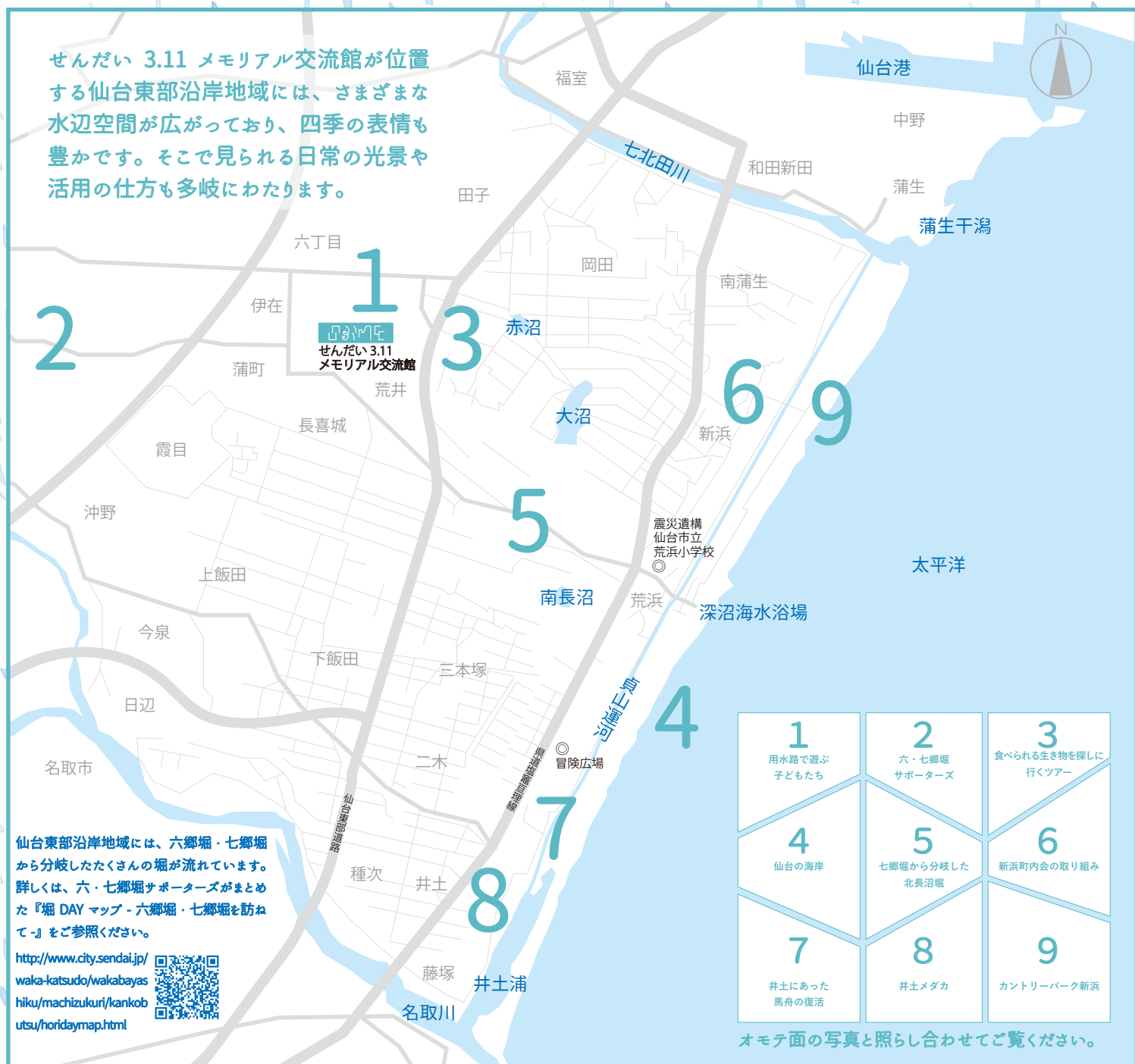
[仙台市営地下鉄東西線 荒井駅舎内 (仙台駅から 13 分)]

｜話題提供者｜

八十川淳さん (東北文化学園大学教授)

棟方有宗さん (宮城教育大学准教授)

せんだい 3.11 メモリアル交流館が位置する仙台東部沿岸地域には、さまざまな水辺空間が広がっており、四季の表情も豊かです。そこで見られる日常の光景や活用の仕方にも多岐にわたります。



仙台東部沿岸地域には、六郷堀・七郷堀から分岐したたくさんの堀が流れています。詳しくは、六・七郷堀サポーターズがまとめた『堀 DAY マップ - 六郷堀・七郷堀を訪ねて-』をご参照ください。

<http://www.city.sendai.jp/waka-katsudo/wakabayas-hiku/machizukuri/kankobutsu/horidaymap.html>



1 用水路で遊ぶ子どもたち	2 六・七郷堀サポーターズ	3 食べられる生き物を探しに行くツアー
4 仙台の海岸	5 七郷堀から分岐した北長沼堀	6 新浜町内会の取り組み
7 井土にあった馬舟の復活	8 井土メダカ	9 カントリーパーク新浜

オモテ面の写真と照らし合わせてご覧ください。

【1】用水路で遊ぶ子どもたち

メモ館の北側には田んぼが広がっています。そのそばに流れる用水路では、近所の子もたちが生き物を捕まえて遊ぶ姿を時折見かけます。

【4】仙台の海岸

宮城野区新浜地区の海岸では、ハマボウフウやハマヒルガオをはじめとした海辺ならではの植物の豊かさに触れることができます。若林区荒浜地区にある深沼海水浴場では、再開に向けた準備が始まっています。

【7】井土にあった馬舟の復活

若林区井土地区には、貞山堀を渡るための橋がなかったため、「馬舟」と呼ばれる木造の小型舟が活用されていました。地域住民の加藤さんがこの春に復活させました。

【2】六・七郷堀サポーターズ

江戸時代から流れる六郷堀・七郷堀の魅力や堀の大切さを伝えるために平成 18 年に発足した団体です。堀歩きや講座など、さまざまな活動を展開しています。

【5】七郷堀から分岐した北長沼堀

写真は若林区荒井字笹屋敷付近です。荒浜地区へと続くバス通りのそばを通る堀です。このまま東へ流れて、貞山堀へと注いでいます。

【8】井土メダカ

東日本大震災前に棟方有宗先生が若林区井土地区にて採取していたメダカについて、個体を増やして生息場所に戻そうと、八木山動物公園で「メダカの里親」を募る取り組みをしています。メモ館も里親として 1 階でメダカを飼っています。

【3】食べられる生き物を探しに行くツアー

メモ館で開催している仙台東部沿岸地域の生活文化を学ぶ講座の一つです。かつては貴重なタンパク源だったということで、「昔は、堀で採れたドジョウやザリガニを食べていた」というお話を交流館のまわりではよく聞きます。

【6】新浜町内会の取り組み

宮城野区新浜町内会では、かつて地区内にあった「馬舟」の再現や自然豊かな海岸の散策をとおして地域の魅力を知ってもらおうと、さまざまな取り組みが始まっています。

【9】カントリーパーク新浜

仙台市沿岸部で始まっている移転跡地活用事業の一環で、宮城野区新浜地区では「カントリーパーク新浜」が井戸を掘ってビオトープと冬水たんぼの準備を進めています。